2022 年 5 月 24 日

フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

# ペトロナス・ガス(PGAS)

## 政府インセンティブ規制(IBR)のもと、引き続き安定した収益を見込む。積極的な設備投資により、供給基盤の強化を加速。

マレーシア | 石油・ガス パイプライン | 業績フォロー

BLOOMBERG PTG:MK | REUTERS PGAS.KL

- 2022/期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比8.8%増、売上総利益が同14.1%減、純利益が同19.0%減と増収減益となった。
- 主に公益事業における販売価格の上昇および電力販売の増加により増収となった一方、燃料コストの上昇に伴い利益率が悪化した。
- 2022年は14億MYRの設備投資を計画(2021年は12億MYR)。旺盛な需要に対応するため、3基目となる新たなLNG貯蔵タンクの開発を検討。

**What is the news?**

5/19発表の2022/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比8.8%増の14.57億MYR、売上総利益が同14.1%減の6.12億MYR、純利益が同19.0%減の4.37億MYRとなった。主に公益事業において、販売価格の上昇および電力販売の増加により増収となった一方、燃料コストの上昇に伴い利益率が悪化したほか、その他の事業における運用コストの増加が響いた。

1Qのセグメント別の業績は以下の通り。①ガス精製事業は、売上高が前年同期比1.0%増の4.33億MYR、売上総利益が同4.4%減の2.32億MYR。ガス消費が増加する中、「政府インセンティブ規制(IBR)」の第2期間(2019-2023年)の下で固定報酬課金が増加した一方、運用コストの増加が響いた。②ガス輸送事業は、売上高が同横ばいの2.88億MYR、売上総利益が同7.2%減の1.83億MYR。「政府インセンティブ規制(IBR)」に基づく料金設定の下、売上高は一定だったが、流通コストが増加した。③再ガス化事業は、売上高が同1.0%減の3.43億MYR、売上総利益が同10.9%減の1.75億MYR。LNGのリロード(再積み込み)料金の低下や、運用コストの増加が響いた。④公益事業は、売上高が同42.4%増の3.92億MYR、売上総利益が同71.1%減の2,157万MYRだった。販売価格の上昇と電力販売量の増加により増収となった一方、燃料コストの上昇により減益。

**How do we view this?**

同社は、「政府インセンティブ規制(IBR)」の下、ガス輸送および再ガス化事業においては第1期間(2022年末まで)の料金が適用され、ガス精製事業においては、第2期間(2019-2023年)の固定報酬課金が設定されるため、引き続き安定的な収入を見込む。

同社のグループ会社であるペトロナスLNGは2022年5月11日、米国産液化天然ガス(LNG)の供給事業者である米Venture Global LNGから、年間100万トンの液化天然ガス(LNG)を20年間購入する契約の締結を発表。更に同社は今年、14億MYRの設備投資を計画しており(昨年は12億MYR)、LNG需要の高まりを背景とした貯蔵能力拡大のため、同社3基目となる新たなLNG貯蔵タンクの開発も検討している。ウクライナ侵攻で制裁を受けるロシアからの天然ガス供給量が減少する中、旺盛な需要に対応するための安定した供給基盤の構築により、同社の長期的な成長が期待されよう。

**業績推移** ※参考レート 1MYR=29.10円

| 事業年度 | 2019/12 | 2020/12 | 2021/12 | 2022/12F | 2023/12F |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高（百万MYR） | 5,458 | 5,592 | 5,648 | 5,684 | 5,638 |
| 当期利益（百万MYR） | 1,935 | 2,009 | 1,988 | 1,913 | 1,954 |
| EPS（MYR） | 0.98 | 1.02 | 1.00 | 0.97 | 1.00 |
| PER（倍） | 16.82 | 16.16 | 16.48 | 16.99 | 16.48 |
| BPS（MYR） | 6.69 | 6.39 | 6.62 | 6.75 | 6.93 |
| PBR（倍） | 2.46 | 2.58 | 2.49 | 2.44 | 2.38 |
| 配当（MYR） | 0.82 | 1.27 | 0.72 | 0.81 | 0.81 |
| 配当利回り（%） | 4.98 | 7.71 | 4.37 | 4.92 | 4.92 |

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

| | | |
|---|---|---|
| 配当予想（MYR） | 0.81 | （予想はBloomberg） |
| 終値（MYR） | 16.48 | 2022/5/23 |

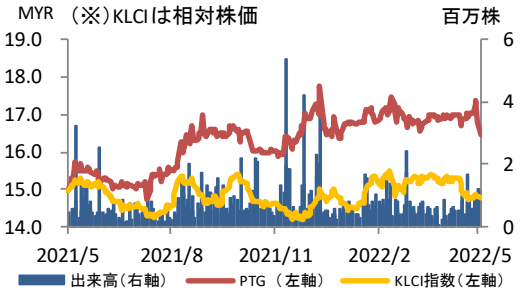
**会社概要**

1983年設立。マレーシアの大手国営石油会社ペトロナス（マレーシア国有石油公社）の子会社であり、マレーシアを代表するガスインフラおよび公益事業会社である。天然ガスの精製、輸送、再ガス化、および天然ガスに係る公益サービスを主力の4事業とする。オフショア油田から配管された天然ガスを処理し、処理されたガスをPGU（Peninsular Gas Utilisation）パイプラインネットワーク経由でマレーシアとシンガポールの顧客に輸送する。

また、マレーシア北東部のトレガンヌにあるケルテ総合石油化学コンビナートやパハン州のゲベン工業地帯の顧客に蒸気、電力、産業ガスを供給している。同社の本社はクアラルンプールにあるペトロナスツインタワーにあり、同タワーは高さ452mの超高層建築物として世界的にも有名な観光名所になっている。

**企業データ**（2022/5/24）

| | |
|---|---|
| ベータ値 | 0.51 |
| 時価総額（百万MYR） | 32,451 |
| 企業価値=EV（百万MYR） | 32,542 |
| 3ヵ月平均売買代金（百万MYR） | 12.0 |




（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

**主要株主**（2022/5） （%）

| | |
|---|---|
| 1.ﾏﾚｰｼｱ国有石油公社 | 51.00 |
| 2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD | 13.89 |
| 3.KUMPULAN WANG PERSARAAN | 10.48 |

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）


**リサーチ部**

山口 亮太
+81 3 3666 0707
ryota.yamaguchi@phillip.co.jp

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。